

大洲市を守る消防団員の活動や取り組みを、シリーズでご紹介します。

このフェアは、防災意識の向上を目的に、女性分団と大洲消防署が毎年実施しています。この日は、住宅用火災警報器の設置推進や消防団員募集のチラシの配布、防災紙芝居を行いました。

紙芝居では、女性団員が地震が起きた場合の対処方法をわかりやすく説明し、集まった子どもたちも楽しく勉強することができました。



今回出展した防災ブース

大洲市消防団女性分団が、昨年11月3日(火)のおおずまつりに合わせ、おおまつり村会場で防災フェアを実施しました。

おおまつり村で防災フェアを実施

大洲市消防団 女性分団



紙芝居も行いました

女性分団では、独居高齢者への防火訪問や学校、事業所でのAED講習など、さまざまな活動を団員たちが力を合わせて行っています。現在27人で活動しています。

一緒に活動していただける女性団員を募集していますので、「消防団に入りたい」「消防団活動を通じ地域に貢献したい」という人はぜひ、危機管理課消防係までご連絡ください。

【問い合わせ先】
危機管理課消防係 ☎1742

文化財

長瀬遺跡
大洲市指定史跡
個人所有



本遺跡は、肱川町宇和川にあり、肱川が形成した河岸段丘（河川沿いに発達した階段状の地形）上の、南西方向へ傾斜する緩斜面上に位置します。

これまで、打製石鏃（石製の矢尻）などの石器が採取されていて、形状から判断して縄文時代（約13,000～2,300年前）のものと考えられています。採取された石器の多くは、市内で得られる赤色珪質岩でつくられています。しかし一部には、黒曜石（大分県姫島）、サヌカイト（香川県）、頁岩（高知県）など、市内では採れない石材も使われています。

このため、縄文時代から遠隔地との交易があったと推測することができ、当時の人たちの活動を考えるうえで、意義深い遺跡といえます。

（昭和60年1月1日指定）

野鳥

オジロワシ（尾白鷲）
タカ目タカ科
大きさ76～98cm
翼開長199～228cm



国内最大級のオオワシに並ぶワシ、タカの仲間です。冬期に県内でも時折観察され、成鳥は茶色の大きな体と翼、白色の尾羽が特徴です。西日本にやって来る個体は、全身茶色の幼鳥が多いようです。こんな大きな鳥が何を食べているのか気になりますが、今までの観察では、ミサゴ（魚専門に狙をするタカの仲間）が狩った魚を、執拗に追い掛け奪い取っていました。そのため、海岸線や河口部で多く目撃されているようです。

雪と氷で閉ざされる北の大地から、餌の捕りやすい所まではるばる南下して越冬し、春にはまた帰って行く。人類は、燃料を一切使わず移動できる野鳥たちに、昔から憧れてきました。今、人類は地球の裏側まで簡単に移動できる手段を得ていますが、領土や国境など気にせず移動できる野鳥たちの方が、一枚上のような気がします。

新しい年も全ての生き物が幸せになるよう、祈るばかりです。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト

新谷藩主加藤家の文化財 最終幕

加藤泰理(かとうやすただ)

加藤泰理は、文化12年(1815)江戸に生まれ、天保2年(1831)、父泰儔の隠居に伴い家督を相続しました。

泰理が藩主になった時期も財政難は続いていました。しかし、学問に熱心であった泰理は、財政再建のため一時中断していた藩校求道軒の再興を図り、藩士の教育に力を尽くしました。

また、嘉永6年(1853)、ペリーが浦賀に来航すると、外国船が領内に現れることを危惧して、海岸防衛に係る費用の提供を領民に命じました。そのようななか、文久元年(1861)、長浜沖に外国船が停泊する事件が発生すると、藩ではこれに対抗するため領内各家の古銅や寺院の梵鐘を回収して大砲の製造に取り掛るなど軍備の増強を図りました。

文久2年(1862)に隠居すると、慶応3年(1867)江戸において53歳で没しました。なお、遺骸は江戸の海禅寺に埋葬されたため、新谷に墓所は築かれていません。

加藤泰令(かとうやすのり)



加藤泰令は、天保9年(1838)、8代藩主加藤泰理の子として生まれ、文久2年(1862)、父泰理の隠居により家督を相続しました。

泰令が藩主となったころは、外国船が日本に頻繁に現れる幕末の動乱期で、藩主となった翌年には領内の海岸防衛のため、農民に鉄砲の所持を認める「郷筒」や、農民を召し抱えて組織した農民鉄砲隊「郷組」を設立するなど、軍備の充実に努めました。

また、本家大洲藩とともに朝廷を重んじ、藩兵を率いて宮廷の守護を務め、明治元年(1868)、明治天皇の東京行幸の際には、行列の後衛を任されました。

大正2年(1913)、東京にて76歳で没しましたが、遺骸は江戸の海禅寺に埋葬されたため、新谷に墓所は築かれていません。

大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ

あけましておめでとうございます。今年も大洲ご当地クイズをよろしくお願ひします。

さて今月は、新春お年玉企画として、クイズに正解した人のなかから、抽選で20人に1,000円分のクオカードをプレゼントします。大洲ご当地クイズをもっとたくさんの人に知ってもらいたい、大洲をもっと好きになってもらいたいと思ひ企画しました。ぜひとも多数のご応募よろしくお願ひします。

【今月のクイズ】

大洲市合併10周年を記念して大洲市民の歌が完成しました。そのタイトルはどれでしょうか。

- ① 大洲が大好きです
- ② 生まれも育ちも大洲です
- ③ 100年後僕らは…大洲より

【応募方法】

はがきに答えの番号・郵便番号・住所・名前・年齢・電話番号・「大洲ご当地クイズプレゼント希望」と記載し、右記宛先に郵送してください。当選は発送をもって代えさせていただきます。なお個人情報厳重に管理し、プレゼント発送以外には使用しません。

【応募期限】 1月15日(金)※当日消印有効

【先月号のクイズの解答・解説】

南予地方を舞台に2016年3月から始まるイベントは何でしょうか。

- ① えひめいやしの南予博
- ② 南予の笑顔でいやし旅
- ③ なんよ丸ごといやし博

解答…①

解説…えひめいやしの南予博2016のキャッチフレーズは「さとに憩い、人に和む。えひめ南予の、いやし旅。」です。南予地方を舞台とし、今年3月～11月まで開催されます。大洲市のテーマは「おおず歴史華回廊」です。しぐれや郷土料理などを連携させたグルメウォーク、明治の街歩きツアーなどを企画予定です。大洲の良さを知ってもらう絶好の機会です。ぜひ参加しましょう。



【宛先・問い合わせ先】

〒795-0012大洲市大洲694番地 1
大洲商工会議所青年部
☎24-4111

※今月のクイズの答えは、広報大洲2月号に掲載します。

※ウォロフ語で「少しづつ」の意味

青年海外協力隊 藤本 顕允 さん

アッサラムマレイクム。(ウォロフ語で「こんにちは」の意味) 青年海外協力隊として西アフリカのセネガルで活動している藤本顕允です。

およそ3カ月に及ぶ雨季も終わりました。雨季の間には、至るところに池のような水たまりができて、そこで水浴びをする子どもたちの姿が見られました。最近では、朝晩冷え込みを感じるようになり、セネガルに来て暑さだけでなく、「寒さ」を感じられる喜びに浸りながら生活しています。

セネガルのビッグイベント

前回ご紹介したラマダン終了から1カ月と10日後に、タバスキ(犠牲祭)というお祭りがありました。各家庭で羊を購入し家族みんなでいただく、というものです。タバスキの前日には、車の上に羊、馬車の上に羊、道の上に羊と、町中が羊であふれ返っていました。

また、10月24日は、イスラム新年のタマハリというお祭りでした。家族でクスクスを食べ、子どもたちは仮装(男の子は女装、女の子は男装)をして、顔に白い粉を塗り、夜の町を踊り歩きながら近所の家を回ってお菓子をもらいます。ハロウィンに少し似ているかもしれませんね。こういったお祭りの日には、家族みんなで集まり夜遅くまで、あちらこちらで太鼓の音が鳴り響いていました。

井戸の掃除も楽じゃない

先日、井戸の清掃活動を手伝いました。バケツを使い井戸の水を全てくみ出し、井戸に入ったごみや汚れた水を取り出します。中の汚れを落としたりバケツが落ちたときは、身軽な子どもがロープを伝って中へ降ります。水道水に塩分が含まれる私の任地では、飲料水となる井戸水は非常に大切です。今後も井戸の適切な管理が行われるように、清掃やふたの設置を促していきます。



井戸清掃の様子

3000日を経過して

住人と話して自分の言いたいことが伝わったとき、一度行った村に迷わず行けたとき、自分がちよつとずつ成長していることを感じます。残りの任期も約1年。活動を少しずつ形に残していけるよう頑張ります。

それではまた、バベネンヨーン。(ウォロフ語で「また今度」の意味) (現地時間2015年11月20日・セネガル生活319日目)

おおずの女性 ~輝いて今~

市では、男女共同参画を推進する指針として「大洲市男女共同参画推進計画」を策定しています。この施策を推進するために、毎年大洲市における男女共同参画の進捗状況を公表しています。

審議会などにおける女性委員の登用状況

	審議会など (うち女性委員のいる審議会など)			延べ総委員等数(人) (女性委員数)			女性委員比率		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
地方自治法(第202条の3)に該当する審議会等数 ※1	39 (33)	38 (34)	40 (35)	858 (164)	881 (178)	820 (168)	19.1%	20.2%	20.5%
地方自治法(第180条の5)に該当する審議会等数 ※2	6 (2)	6 (2)	6 (2)	56 (6)	56 (6)	56 (5)	10.7%	10.7%	8.9%
小計	45 (35)	44 (36)	46 (37)	914 (170)	937 (184)	876 (173)	18.6%	19.6%	19.7%
要綱・規程等に基づき市が独自に設置している審議会等数	19 (13)	16 (10)	22 (17)	278 (32)	220 (25)	316 (94)	11.5%	11.4%	29.7%
合計	64 (48)	60 (46)	68 (54)	1192 (202)	1157 (209)	1192 (267)	16.9%	18.1%	22.4%

※1 地方自治法に基づき法令・条例で設置されている審議会などの数

※2 教育委員会・選挙管理委員会・公平委員会・監査委員・農業委員会・固定資産評価審査委員会の数

自治会長、PTA会長などにおける女性役員

	女性役員数(人)			役員総数(人)			女性役員比率		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
区長会・自治会など	区長会長(※)	1	1	30	30	30	3.0%	3.0%	3.0%
	自治会長	1	1	33	33	33	3.0%	3.0%	6.0%
	会長以外の役員	95	74	67	568	572	539	16.7%	12.9%
小学校	PTA会長	0	0	19	15	14	0.0%	0.0%	7.1%
	会長以外の役員	27	27	213	67	68	291	40.3%	39.7%
中学校	PTA会長	0	1	9	9	9	0.0%	11.1%	0.0%
	会長以外の役員	17	13	122	41	42	162	41.5%	31.0%

※ 平成27年度より地域自治組織の再編により区長会が自治会と統合

市における女性の役付職員(係長および係長相当職以上)と一般職員への登用状況

(単位:人)

	役付職員	うち女性	女性役付職員の内訳				一般職員	うち女性
			副部長級	課長級	課長補佐級	係長級		
H25	353	107	0	3	9	95	327	205
H26	348	104	0	2	9	93	318	199
H27	349	105	1	1	14	89	308	202



11月15日(日)

子どもたちの笑顔でカバー ～白滝 滝まつり～

恒例となっている「滝まつり」が、今年も開催されました。

貴船神社から宮出しされた子ども神輿^{みこし}は、地域の人の無病息災を願いながら町内を練り歩きました。

今年は、紅葉が赤くならず落葉してしまいましたが、子どもたちの笑顔と元気な声でカバーされていました。



11月8日(日)

人との出会いから幸せを ～福祉と健康づくり「市民のつどい」～

福祉と健康のまちづくりの一環として、総合福祉センターで市民のつどいが開催されました。

会場では、各種展示や即売、各種相談が行われ、市民同士が交流を図っていました。

午後からは、「みんな地球に生きるひと」と題してアグネス・チャン先生の講演が行われ、参加者約500人は熱心に耳を傾けていました。



11月22日(日)

一本のタスキに思いを込めて ～第7回大洲市駅伝大会(長浜～大洲間)～

今年度で7回目を迎える「大洲市駅伝大会」が、長浜地区をスタートして市民会館をゴールとする区間に、市内外から75チーム、658人の選手が参加して行われました。

選手たちは、沿道からの応援に励まされながら、それぞれのチームのタスキをつなげるために懸命に走っていました。



11月15日(日)

晴天に恵まれて ～第31回肱川ふれあいまつり～

肱川地域秋の恒例イベント、肱川ふれあいまつりが、風の博物館・歌麿館横の「風のり広場」をメイン会場に開催されました。

雨が心配されていましたが、快晴に恵まれ、北海道えりも町の特産品販売や各種団体の出店、かとうれい子さんらのステージショーなどで盛り上がり、最後のお楽しみ抽選会まで多くの人でにぎわいました。

県新記録での優勝を報告

愛媛県総合運動公園陸上競技場（ニンジニアスタジアム）で開催された、第28回愛媛県小学校陸上運動記録会で、県新記録を出して優勝した新谷小学校の大原翔さん、大洲小学校の藤田明希さん、久保一輝さん、安田悠人さん、前川佑太さんと、第51回水泳通信記録会で県新記録を更新した喜多小学校の中岡亜依香さん、富山明央生さん、信尾歩里さんが昨年11月25日（水）、市役所を訪れました。

大原さんは、60メートルハードルに出場し、平成24年に記録された8秒96を0秒05上回る8秒91で優勝しました。藤田さん、久保さん、安田さん、前川さんの4人は、4×100メートルリレーで、平成20年に記録された52秒57を0秒56上回る52秒01で優勝しました。

中岡さん、富山さん、信尾さんの3人は、出場した150メートルドレーリレーで1分49秒6の記録を出し、平成26年の従来記録1分51秒4を1秒8更新しました。また、中岡さんは25メートルバタフライでも、平成26年に同じ喜多小学校の先輩（上田稀織さん）が記録した15秒6を0秒5上回る、15秒1の県新記録を樹立しました。

選手のみなさんからは、「大会で



は緊張したが、新記録を出せてよかった」「ミスをせず、練習の成果を出せてうれしかった」「今まで水泳を続けてきてよかった。中学校に入っても水泳を続けたい」といった喜びと今後の抱負などが聞かれました。

清水市長は、選手たちに向けて「何かを頑張ることが、これからのみなさんの人生において大切になる。若い時から、誰にも負けたくないこと、自分がやりたいことを見つけて、自分がやる必要がある。今後、みなさん自身が頑張れることを見つけて、成長してくれることを願う」と述べました。

秋の叙勲

旭日双光章



窪田 亀一さん
(春賀)
元大洲市議会議員

窪田さんは、長年にわたり地方自治に尽力されたご功績により、このたび「旭日双光章」を受章されました。

第25回危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章



祖母井 司さん
(八多喜)
元愛媛県警部

祖母井さんは、長年にわたり警察業務に尽力されたご功績により、このたび「瑞宝双光章」を受章されました。

いざ、男女そろって都大路へ

昨年11月15日(日)に開催された、男子第59回・女子第27回四国高等学校陸上競技走大会で、八幡浜高等学校陸上競技部が、男子3位・女子準優勝という結果を残しました。これにより、すでに出場を決めていた女子とともに、男子も12月20日(日)に京都市で開催された、平成27年度全国高等学校駅伝競走大会に出場しました。

陸上競技部メンバーは全国高校駅伝に先駆け、12月4日(金)、市役所を訪問し、清水市長へ四国大会の結果報告と、全国大会への決意を表明しました。

男子は県予選大会3位ながら四国大会で健闘し、3年ぶり5度目の全国出場、女子は県予選大会ト



ップで圧巻の9年連続9回目の全国大会となりました。

選手のみなさんは、「チーム一丸となつて、全国大会で堂々とした走りをしたい」「ベストを尽くして自分の役割を果たしたい」と、意気込みを語りました。

陸上競技部メンバーのうち、稲田哲伸さん(大洲南中学校出身)、山中陽太さん(大洲北中学校出身)、一宮颯斗さん(新谷中学校出身)、川本彩乃さん(平野中学校出身)の4人が大洲市の出身です。四国大会では、稲田さんは2区を、山中さんは3区、一宮さんはアンカーの7区を、川本さんも同じくアンカーの5区を力走しました。



ツバメ戦士がやってきた ～ヤクルト球団選手ふれあい学校訪問～

昨年の11月13日(金)、松山市で秋季キャンプ中のヤクルトスワローズから川上竜平外野手と田川賢吾投手、山川晃司捕手の3選手が、粟津小学校(松田千壽校長・児童74人)を訪問しました。

開会行事では、旭良浩さんが「今日の交流会を楽しみにしていた。雨が降っていて体育館での行事になるが、楽しく交流したい」とあいさつしました。

交流会では、最初に質問コーナーがあり、「野球を始めたきっかけは」「憧れ(目標)の野球選手は」な

どの問いかけに、3選手は丁寧に答えていました。

次にキャッチボールが披露され、プロ選手のキャッチボールを間近で見た児童たちは、ボールのスピードと捕球時の音にびっくりしていました。その後、選手と児童たちは、キャッチボールや鬼ごっこ、給食で楽しいひと時を過ごしました。

閉会行事では、泉原航大さんが「プロ野球選手とキャッチボールや鬼ごっこができてうれしかった。これからも頑張ってください」とお礼を述べました。



大洲のええモンを首都圏に、「まるごと大洲」試食お披露目会

大洲ええモンセレクション認定品を対象に、首都圏への販路拡大や認定品の知名度および販売額向上を目指し、昨年11月7日(土)、松山市のヨнденンプラザ松山で、「まるごと大洲」試食お披露目会が開催されました。

会場には、食品販売企業や金融機関の関係者など約80人が参加し、ハモの揚げ物やハモしゃぶ、クリごはんなどの試食が行われました。また、ええモンセレクション認定事業者による認定品の紹介も行われました。

今後、東京の紀ノ國屋国立店での市場ニーズ調査やイベント販売の開催、伊予銀行東京支店での展示・商談会、東京ビッグサイトで開催される「第50回スーパーマーケット・トレードショー2016」への出展などが予定されています。

市では、大洲のええモンを首都圏に販売・PR



することで、大洲市の認知度向上や集客アップのきっかけとし、地場産業のさらなる振興につなげたいと考えています。

健康で楽しい食生活を ～食育講演会～

昨年11月21日(土)、総合福祉センターで食育講演会が開催され、約200人が参加しました。

第1部では、食育コンクールの応募作品の中から、入賞した16人に賞状と副賞が贈られました。

第2部では、料理研究家の中村和憲先生かずのりによる「命のバトンをつないでいくこと～台所は幸せをつくる場所～」と題した講演が行われました。講演では、子どもの脳の発達と「食」の関連性や「食」が健康な体と心をつくることなどについて話されました。



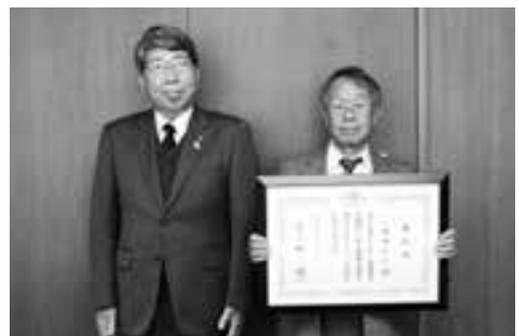
社会教育活動に貢献

～文部科学大臣社会教育功労者表彰～

国立大洲青少年交流の家研修指導員の有田信彦のぶひこさんが、社会教育功労者表彰を受賞されました。有田さんは平成16年からスポーツライミングの研修指導員として活躍されています。

スポーツライミングは、交流の家の活動の中でも大変人気があるプログラムの一つです。

昨年11月20日(金)、市役所に表敬訪問された有田さんは「自分が好きで楽しいと思えるクライミングを続けてきた結果、このような賞をいただき、大変ありがたく思う。今後も体の動く限り、子どもたちと一緒にクライミングを続けていきたい」と述べられました。



市長説明会および肱川重要水防箇所点検を実施 ↳ 関東・東北豪雨を受けた「避難を促す緊急行動」 ↳

昨年9月に、関東・東北豪雨による鬼怒川堤防の決壊で甚大な被害が発生したことを受け、大洲河川国道事務所では「避難を促す緊急行動」の一環として、市長説明会および肱川、矢落川の重要水防箇所点検を実施しました。

市役所で開かれた説明会では、清水市長をはじめ防災関係職員や大洲消防署職員が参加し、国の河川管理者が提供する情報と対応について、周知確認するとともに活発な意見交換を行いました。

また、地域の住民にも危険箇所の認識を深めてもらうため、肱川



および矢落川の重要水防箇所（出水時に決壊や越流の恐れがある箇所）の5カ所を、国と水防団および地元自主防災組織が合同で点検しました。

参加した人からは「どのような状況で洪水が起こるのかよく分かった。日ごろの活動が大事だと感じた」との声が聞かれました。

なお、国土交通省では、各種防災情報や、全国自治体のハザードマップを検索できるサイトを開設しています。

<http://disaportal.gsi.go.jp/>



大洲で初めての行政相談出前教室開催

大洲市で初めての開催となる行政相談出前教室が、大洲南中学校（藤岡朋校長・生徒221人）で開催されました。

この事業は、国や県などへの意見や要望を受け付ける「行政相談制度」の周知を図ることを目的に、平成22年度から県内の小中学校で開催されています。

昨年の11月12日（木）に行なわれた出前教室には3年生76人が出席し、総務省愛媛行政評価事務所高橋恵子行政相談課長から、行政相談制度の仕組みや内容について説明があり、続いて小澤功行政相談委員から、実際に寄せられた相談で改善された事例2件が紹介されました。

その後、生徒たちは各班に分かれて、普段の生活で気づいたことや改善して欲しいことなどを話し合い、「街灯を設置してほしい」「橋を架けてほしい」などの意見が出されました。

出前教室終了後、生徒からは「行政相談という言葉が初めて聞いた」「行政相談について深く理解することができた」「自分たちの地域を改めて見つめなおすことができた」「発表したことが改善されるとうれしい」「自分たちの生活に行政が大きく関わっていることを初めて知った」といった感想が聞かれました。



大洲の魅力を伝えます ～ふるさとCM大賞応募作品撮影～



昨年11月16日(月)、大洲青年会議所まちづくり委員会と坂本龍馬脱藩の道保存会のみなさんが、「ふるさとCM大賞えひめ'16」への応募作品の撮影を行いました。
ふるさとCM大賞は、愛媛朝日テレビ主催で毎年行われているイベントです。自分たちの住んでいる町の魅力を30秒のCMに込めて表現・制作し、審査会で各賞が決定されます。最高位のCM大賞に輝いた作品は、県外でも放送されます。

1回、奨励賞1回の合計6回の受賞歴があります。
大洲青年会議所まちづくり委員会のみなさんは、おはなはん通りやあさもや、大洲城などで、大洲の魅力をアピールするCMを撮影しました。
坂本龍馬脱藩の道保存会のみなさんは、脱藩の道の数カ所で「脱藩の道ウォーキング」の魅力を伝えるCMを撮影しました。
応募作品の審査は、3月6日(日)に松山市総合コミュニティセンターで行われ、全ての応募作品が愛媛朝日テレビのCM枠で放送されます。



第6回大洲城絵はがきコンクール入賞者発表

平成27年10月1日(木)から31日(土)までの1カ月間、大洲城天守2階にて開催していました「第6回大洲城絵はがきコンクール」の入賞者が決定しました。今回の出展作品数は、小学生・中学生合わせて22点でした。入賞者と入賞作品は次のとおりです。おめでとうございます。



金賞
池田 京偉 さん
(新谷中1年生)



銀賞
一宮 もこさん
(内子小3年生)



銅賞
神野 莉穂 さん
(喜多小6年生)